

報道関係者各位

日本初上陸のアンダーズホテル 「アンダーズ 東京」6月11日開業

「アンダーズ 東京 (Andaz Tokyo Toranomom Hills)」のオープンが2014年6月11日に決定いたしました。ハイアットが運営し、日本初、世界で12軒目となるアンダーズ 東京では、6月11日以降の宿泊予約も開始いたしました。

アンダーズは、ロンドンやニューヨーク、ハリウッド、上海など、世界中のダイナミックな都市に展開するライフスタイルホテルです。地域の個性を大切にし、その土地の魅力をデザインやサービスに取り入れるため、それぞれのアンダーズホテルが個々に異なる顔を持っているのが特徴です。

「素晴らしい歴史とダイナミックな未来をつなぐ架け橋となる虎ノ門の地に、アンダーズブランドが誕生することを大変嬉しく思います」とアンダーズ 東京の総支配人アルノー・ド・サン=テグジュペリは述べています。「ヒンディ語で『パーソナルスタイル』を意味するアンダーズは、ゲスト一人ひとりのライフスタイルに合わせた、新しいタイプのホテル体験を提供します。型にとらわれず、日本らしさを大切にされたサービスにより、ゲストの皆さまには、まるでご自宅にいるかのように心からリラックスした上質な時間をお過ごし頂きたいと願っています。」

アンダーズ 東京は、地上52階建ての超高層複合ビル「虎ノ門ヒルズ」の47-52階の6フロアを占めます。東京の中心と臨海部をつなぐ革新的な都市開発のプロジェクトの一部として誕生する虎ノ門ヒルズの地下には環状二号線が貫通し、地上部は東京のシンボルストリート「新虎通り」が整備されます。銀座や丸の内、霞ヶ関、新橋、赤坂、六本木などのエリアへのアクセスが便利な中心地に位置し、ビジネスにも旅行にも最適なロケーションとなります。

ようこそ、アンダーズ 東京へ

アンダーズ 東京の内装デザインは、世界的に活躍する二人のデザイナー、ニューヨークを拠点とするトニー・チー氏と日本人デザイナーの緒方慎一郎氏が手掛けました。内なる美、余分なものを削いだ純粋さを大切に日本の美意識を尊重し、素材には和紙やクルミ材などの自然素材を取り入れています。またふすまや障子のアイディアにヒントを得たデザインが空間の動きをつくり、シンプルでありながらも洗練された空間となっています。

アンダーズのスタイルは、到着して最初にご案内する51階の「アンダーズ ラウンジ」から感じていただけます。ロビーの概念を取りのぞいたこの場所では、従来のホテルのようにドアマン、フロント、コンシェルジュ、ベルアテンダントというセクション毎の業務分担をなくし、さまざまな表情をもつマルチタスクの「アンダーズ ホスト」がゲストの皆さまをお迎えします。チェックインは、アンダーズ ラウンジのソファでエスプレッソやウエルカムドリンクを片手にゆっくりと会話を楽しみながら、あるいはお急ぎのゲストの方は客室にご案内しながらなど、個々のスタイルに合わせて行います。

47階から50階にあるのは、8室のスイートルームを含む、164室の客室です。スタンダードでも50㎡ある客室からは、東京の素晴らしい眺望をお楽しみいただけます。日本のお風呂の考えを取り入れた広くゆとりのあるバスタブを備え、またゲストの皆さまには家のようにくつろいで頂きたいという思いから、部屋のミニバーのソフトドリンクやスナック、市内電話、WiFi接続はすべて無料でお使い頂けます。

51階のアンダーズ ラウンジの隣には、メインダイニングとなる「アンダーズ タヴァーン」。52階までの吹き抜けを含む広々とした空間です。大きなガラス窓からは、四季折々に移ろう美しい皇居やスカイツリーの景観を望むことができます。レストランの天井から吊るされた木の彫刻は、イギリス人アーティストのチャーリー・ウィニー氏による作品で、洗練された空間にエネルギーとリズムを与え、場に活気を与えます。ソファのあるラウンジとバーを備えた212席のダイニングエリアでは、新鮮な日本の食材を使い、洗練された西洋料理をご提供する予定です。

52階のルーフトップは、古典的な日本建築と庭園を現代的に解釈したフロアです。日本古来の神社は現代的なチャペルとして、おもてなしの場である茶室はルーフトップバーとして、思考と探求の場である書院はアンダーズ スタジオとして、3つのエリアが構成されています。東京で一番高い場所にあり、息をのむような見晴らしが広がるチャペルには、すでに多くの新郎新婦から婚礼の予約を頂いています。またルーフトップバーからも東京湾の圧倒的な景色を望むことができます。日本の茶室に着想を得たローカウターのバーや活気があふれるカクテルバーで、お茶や季節のカクテル、お酒を愉しんで頂けます。

ホテルのゲストは、37階のスパ&クラブ「AO (アオ)」も自由にお使い頂けます。皇居を見渡すことのできる20m プールを含む1,350㎡のスパは、自然と水の融合をイメージしてつくられ、和紙でつくられた行灯の光が幻想的な雰囲気をつくりだします。

さらに新虎通りに面した1階には、クラフトビールやハンバーガーを気軽に愉しめるカジュアルダイニング「BeBu (ビブ)」。また「ペストリーショップ」では、素材にこだわったスイーツや焼き菓子を取り揃える予定です。

ようこそ、虎ノ門へ

アンダーズは、そこへ行かなければ味わえないローカルの経験を大切にしています。虎ノ門は、東京で最も古い歴史のある地域のひとつで、ここで受け継がれてきた歴史や現存の社寺、伝統的な職人の技術は訪れる人々を魅了します。歩道部が片側最大13メートルもある新虎通りが開通し、並木やショップ、カフェが立ち並ぶことで、パリのシャンゼリゼ通りのような遊歩道へと発展していくことが期待されています。2020年に開催される東京オリンピックの選手村にもつながる虎ノ門は、歴史と未来をつなぐ架け橋として注目されています。豊富な知識をもったアンダーズ ホストは、従来コンシェルジュの役割を超えて、個々の関心にそって東京の魅力をご紹介します。

クリエイティビティが集う、アンダーズ サロン

世界中のアンダーズに共通し、自由でクリエイティブな才能が集う「アンダーズ サロン」。アンダーズ サロンは、アート、音楽、ファッションから映画まで、ゲストや地域の人が集い、お互いのクリエイティビティと想像力により刺激的な経験を楽しむ場です。アンダーズ サロンの活動は地域によってさまざま、その都市の個性が表現されています。今まで開催されたアンダーズ サロンにつきましては、

www.AndazSalon.com (英語のみ) をご覧ください。

アンダーズ 東京に関する最新情報はホテルのウェブサイト tokyo.andaz.hyatt.jp または Facebook ページ www.facebook.com/AndazTokyo でご確認ください。

Hyatt Hotels Corporation について

ハイアット ホテルズ コーポレーション(本社：米国イリノイ州シカゴ)は、ハイアットが誇る洗練されたおもてなしと心地よい寛ぎを提供する、世界有数のホスピタリティ企業です。世界各地で働くハイアットスタッフ一人ひとりが、お客様の人生に感動と輝きをもたらす“本物のホスピタリティ”を提供しています。現在、世界中でパーク ハイアット (Park Hyatt)、アンダーズ(Andaz)、グランド ハイアット(Grand Hyatt)、ハイアット(Hyatt)、ハイアット リージェンシー(Hyatt Regency)、ハイアット プレイス(Hyatt Place)、ハイアット ハウス(Hyatt House)、ハイアット ジララ (Hyatt Zilara)、Hyatt Ziva(ハイアット ジーヴァ)のホテルブランドを管理、所有、開発、フランチャイズ経営しています。また、ハイアット ホテルズ コーポレーションの傘下には、ハイアット レジデンスとハイアット レジデンス クラブを展開、運営、販売またはライセンス契約するハイアット レジデンシャル グループ, Inc があります。2013 年 12 月 31 日現在、ハイアット ホテルズ コーポレーションのポートフォリオは世界 48 ケ国で 548 施設です。詳しくは www.hyatt.com をご覧ください。

将来予測に関する記述について

本プレスリリースに含まれる記述で歴史的事実でないものは、1995 年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)が定める「将来予測に関する記述」(Forward-Looking Statement)に該当します。かかる記述は、当社の計画、戦略、財務実績、将来見通しもしくは将来事象に関する記述を含み、また予測困難な既知もしくは未知のリスクに関わります。このため、当社の実際の成果や業績は、将来予測に関する記述に明示または暗示されている内容と大きく異なる場合があります。かかる記述の文中にある「かもしれない(may)」、「可能性がある(could)」、「期待する(expect)」、「意向である(intend)」、「計画している(plan)」、「求める(seek)」、「予想する(anticipate)」、「考えている(believe)」、「予測する(estimate)」、「予想する(predict)」、「潜在的(potential)」、「続ける(continue)」、「あり得る(likely)」、「するつもりである(will)」、「するかもしれない(would)」その他これらに類する単語や類似の表現、又はその否定形の使用によって、当該文章が「将来予測に関する記述」であると判断できることがあります。「将来予測に関する記述」は、当社及び当社の経営陣によってその内容が妥当であると判断されていながらも、必然的に不確かな性質の予測及び前提に基づくものです。現在の期待と実際の結果との間に大きな相違をもたらす要因としては、現在の景気低迷の落ち込み度合いとその継続期間、当事業や旅行・レジャー業界における消費水準と顧客の信頼、客室稼働率や平均宿泊料金の低下、将来起り得るテロ攻撃などの敵対行為や旅行に影響を及ぼす敵対行為発生への恐れ、旅行関連の事故、当社顧客の嗜好や選好の変化、提携業者や労働組合との関係、労働法の改正、他の資産所有者、フランチャイズ加盟者もしくはホスピタリティ事業パートナー等の財務状況及びこれら当事者と当社との関係、将来的な買収及び処分並びに新たなブランドコンセプト導入に伴うリスク、当社が事業を行う業界や市場における競争環境の変化、法的手続の結果、連邦・州・地域または外国の税法の改正、為替相場の変動、資本市場の一般的な価格変動や当社の資本市場へのアクセス力等々が含まれます。かかるリスク及び不確定要素については、米国証券取引委員会に提出されている各種報告書(書式 10-K による年次報告書を含む)において、より完全に記載されています。本プレスリリースの配信日現在において発表された将来予測に関する記述に過度に依拠されることのないようご注意ください。当社は、適用法令によって義務付けられる場合を除き、実際の結果、新たな情報、将来の事象、前提条件の変化、その他将来予測に関する記述に影響を及ぼす要素の変化を、かかる記述に反映させるように将来予測に関する記述を公的に更新する義務を負いません。仮に、当社が将来予測に関する記述の 1 つまたは複数について更新した場合であっても、そのことから、その後、かかる記述又は他の将来予測に関する記述に関してさらなる更新がなされることを意味するものではありません。

本件に関するお問合せ先

アンダーズ 東京 開業準備室 マーケティング コミュニケーションズ / 遠藤真理子、寺本美那
TEL: 03-6830-7751 FAX: 03-6830-1050 tyoaz.pr@andaz.com

客室予約に関するお問合せ先

アンダーズ 東京 リザーベーション
TEL: 03-6830-1212 (月～金 9 時～18 時/土日祝 10 時～18 時) tokyo.andaz.hyatt.jp

アンダーズ 東京 完成イメージ (2014年3月現在)

47-50階 客室



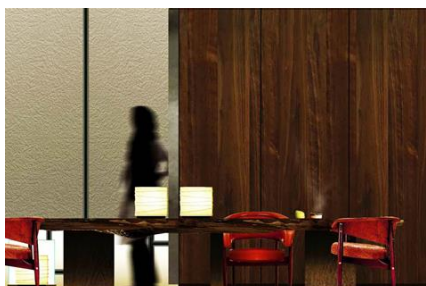
47-50階 客室



47-50階 客室



51階 アンダーズ ラウンジ



52階 チャペル



51階 Tokyo スタジオ



51階 アンダーズ タヴァーン



51階 アンダーズ タヴァーンからの眺望



52階 ルーフトップバーからの眺望



虎ノ門ヒルズ



※完成イメージは2014年3月24日現在のものです、変更になる可能性があります。

アンダーズ 東京 概要

- 開業:** 2014年6月11日(予定)
- 経営会社:** 株式会社 森ビルホスピタリティコーポレーション(森ビル株式会社 関連会社)
- 運営会社:** ハイアット インターナショナル アジアパシフィック リミテッド
(ハイアット ホテルズ コーポレーション 関連会社)
- 総支配人:** アルノー・ド・サン＝テグジュペリ (Arnaud de Saint-Exupéry)
- インテリア設計:** トニー・チー(tonychi and associates)、緒方慎一郎(SIMPLICITY CO., LTD.)
- 所在地:** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目23番地4
- 延床面積:** 約25,000㎡(駐車場除く)
- フロア構成:** 52階
ルーフトップ バー
ルーフトップ スタジオ (210㎡)
チャペル (100㎡)
テラス
- 51階
アンダーズラウンジ
Andaz Tavern (アンダーズ タヴァーン) (212席)
Tokyo スタジオ (260㎡)
シェフズ スタジオ (100㎡)
アンダーズ スタジオ 4室 (各50㎡)
- 47～50階
客室 164室 (50㎡～210㎡)
- 37階
スパ&クラブ「AO」(アオ) (プール/スパトリートメント5部屋/フィットネスジム)
- 1階
ペストリーショップ
BeBu (ビブ)

※上記概要は2014年3月24日現在のものです、変更になる可能性があります。